

E メールニュース「みやぎの九条」 NO. 439

2025 年 6 月 1 日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木 1 丁目 2-45 フォレスト仙台 5F

Tel : 022-728-8812

FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

mail: info@9jou.jp

減らせ軍事費！壊すな憲法！変えよう政治！

「守ろう！いのちとくらし 6・7 宮城県民大集会」

戦後 80 年、被爆 80 年の今年、いまこそ政治には主権在民、基本的人権の尊重、平和主義を掲げる日本国憲法の理念に立ち返るように強く求めましょう。「減らせ軍事費、壊すな憲法、変えよう政治」の声を市民・県民に大きく響かせ、確かな明日に向けて、手をつなぐ人々の輪を幾重にも広げいきましょう。

日時：2025 年 6 月 7 日（土）

午後 1 時半から（雨天決行）

会場：錦町公園

ゲストトーク：青木 理さん（ジャーナリスト）

演題：「自由と平和と人権と 戦後 80 年、非戦の
憲法を今、改めて私たちの手に」

リレートーク：県内市民運動の皆さんから

デモ行進：集会終了後デモ行進を行います。

主催：守ろう！いのちとくらし 6・7 宮城県民大集会実行委員会

お問い合わせ・連絡先：080-8206-3511 FAX：022-276-5160

ゲストトーク
自由と平和と人権と
戦後80年、非戦の憲法を今、改めて私たちの手に！
青木 理さん ジャーナリスト
おさむ
【プロフィール】
ジャーナリスト。1966年長野県生まれ。
慶応義塾大学卒。1990年共同通信社入社。その後フリーに。サンデーモー
ニングなど各種放送局の政治・社会番組でコメンテーターを務める。
ノンフィクションなどの著作も多数。
『日本会議の正体』（学芸社新書）『時代の真実を語る』（河出書房新社）
『時代の証言たち』（河出書房新社）『安倍三度』（朝日新聞出版）

リレートーク
これぞ！市民運動 県内市民運動の皆さんから
政党挨拶

**守ろう！
いのちとくらし**
6.7宮城県民大集会
減らせ軍事費！壊すな憲法！変えよう政治！

2025
6月7日[土] 13:30~ 雨天決行
錦町公園 14:45 デモ行進スタート（仙都會館前まで）
送り出しコース 宮城のうたごえの皆さん

主催 守ろう！いのちとくらし 6.7 宮城県民大集会実行委員会
お問い合わせ TEL 080-8206-3511 FAX 022-276-5160

「大軍拡反対請願全国署名(5/30 現在)

宮城県内 9 条の会連絡会：204 筆 他団体：0 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約：204 筆

* 全国市民アクションの署名用紙が「税金はくらしの充実に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名(略称大軍拡反対請願署名)」新しくなりましたので、4 月 1 日よりカウントが新しくなりました。

* 署名ハガキ付チラシの増刷が出来上がりました。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数をお送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「〇〇市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれず。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時チェックするために大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。



* 5 月 19 日総がかり行動実行委員会が国会へ署名を提出しました。これまで行ってきた憲法改悪反対署名は 17 万 1232 人、大軍拡反対請願署名は 18 万 836 人分を国会議員に手渡しました。

宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12 時から 13 時まで。 実施日：6 月 3 日、10 日、24 日。7 月 1 日。

6 月の「19 日行動」

19 日行動は 2015 年 9 月 19 日に 9 条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：6月20日(金) 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市：6月19日(木) 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：6月19日(木) 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：6月19日(木) 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：6月19日(木) 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：6月19日(木) 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：6月19日(木) 15:30～ 場所：二木の松交差点
- 仙南九条の会：6月19日(木) 11:00～11:30

場所：村田町商店街のセブンイレブン前（小雨決行）

6月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23日行動：6月23日(月)13:00～13:30 坂下交差点
- ・鶴ヶ谷地域九条の会：6月4日(水)11:00～12:00 鶴ヶ谷団地入口
- ・加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台・大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランチ仙台」前、のぼり旗が目印。

●毎週月・水・金曜日の7:30～8:15、水曜日14:00～14:30の週4回

“ロシアのウクライナ侵略反対”でスタンディング

●水曜日：13:30～14:00 ”ガザへのイスラエル侵攻反対”でスタンディング

●毎週木曜日 13:30～14:00 ”大軍拡・大増税NO!”でスタンディング

【県内で行われる活動情報】

戦争を語り継ぐ上映会（6月）例会

「戦場の少年兵たち」～兵士たちの証言、沖縄・鉄血勤皇隊～

同時上映：「証言・集団自決～語り継ぐ沖縄戦・座間味島」

東京から南西へ1600キロメートルさんご礁の海に浮かぶ沖縄。64年前、この島で日本軍とアメリカ軍による激しい地上戦が繰り広げられた。犠牲者は20万人あまり。この戦いには日本で初めて14歳から17歳の中学生、900人あまりが陸軍の兵士として動員された。鉄血勤皇隊。少年たちは、年長の兵士に命じられるまま、戦場でさまざまな役割を担わされる。圧倒的なアメリカ軍の戦力の前に、追い詰められて行く日本軍。後方にいた少年たちの命も、次々に奪われていった。極限の状態で戦場をさまよった少年たち。沖縄全土で招集された中学生、900人のうち実に400人以上が命を落とす。鉄血勤皇隊の元隊員たちの証言から、少年兵が体験した沖縄の地上戦の実態を描き出す。（2009年放送）

■同時上映「証言・集団自決～語り継ぐ沖縄戦・座間味島」

昭和20年3月26日の米軍上陸からおよそ1週間後。逃げる途中で家族と離ればなれになった宮村さんは、避難場所と決めていた壕にたどり着いた。中は真っ暗で静まりかえり、母親の名前を呼ぶと「おまえは誰だ」という母方のおじの声。手さぐりで近づくと冷たくなった住民の死体に触れた。「妻と子ども2人を縄で絞め殺し、自分もこれから死ぬところだ。一緒に死なないか」。おじの勧めを断ると、おじは持っていた砂糖を出し「家族に会ったとき食べて死になさい」と手渡して絶命した。『残酷な死に方だった。また、戦争が起これば同じことが起こる。座間味島に日本兵が来なければ住民はこんな死に方をしないですんだかと思うと残念でならない』（2008年放送）

日時：6月11日（水）10：00～

会場：泉区加茂市民センター会議室

日時：6月16日（月）13：00～

会場：国民救援会（県労連会館3階）

主催：戦争を語り継ぐ会（野原：022-378-0872、090-6226-2008）

NP0法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ2025年度総会・記念講演

「介護保険の今と未来」

～高齢になっても障がいがあっても私らしくを実現するために～

介護現場の実態、特に訪問介護現場の実態などについてお話しいただくとともに、25年経過した介護保険はどこが危機なのか、今後、介護保険はどこに向かっていくのか、社会情勢や国の社会保障政策の動向も踏まえて講演いただきます。

日時：6月12日(木)午後13：00～16：00

会場：フォレスト仙台2階第2フォレストホール

* Zoom参加もできます。

講師：小島美里さん(NPO法人暮らしネット・えん代表理事。ケア社会をつくる会世話人)

内容：記念講演 13：00～14：40

総会 15：00～16：00

定員：会場定員 100名

オンライン定員 100名

参加：要申込 下記の事項記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

①件名「6・12総会・講演会申込」

②氏名、メールアドレス、会場参加またはオンライン参加の別

③E-mail：sn.mkaigonet2@todock.coop

主催：特定非営利活動法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ

Tel:022-276-5202 FAX:022-276-5205

鶴ヶ谷地域九条の会総会講演

『大軍拡と介護保険』

2025年度の防衛費は8.7兆円で2年前の6.7兆円から既に2兆円増額されています。2032年度から5カ年で43兆円、2027年度には10兆円を超えると予測されています。防衛費の急増が介護や福祉にどんな影響をもたらすかお話頂きます。

日時：6月14日(土)午後1時30分～3時00分

会場：鶴ヶ谷市民センター第一会議室

講師：岩倉政城さん(宮城県社会保障推進協議会会長、尚絅学院大学名誉教授)

参加申込：事前申し込み不要、どなたでも参加できます。

* 講演終了後、鶴ヶ谷地域九条の会総会を開催します。

主催：鶴ヶ谷地域九条の会

連絡先：事務局 090-8780-80901 篠原

第3回平和を考えるふるさとの集い

『あったことをなかったことにしたくない』

～PTSDの日本兵家族の思いと願い～

現在行われている国会でも、政府はかつての大陸侵略の実相、そして当時の日本軍による悲惨な行為をいまだにあきらかにしようとしていません。戦地から戻った父親たちのPTSDの影響は子どもや孫世代まで暗い影を残しています。

日時：6月14日（土）13：00～16：00

会場：亘理町悠里館3F視聴覚ホール

オープニング：苫米地サトロさん ミニコンサート

講演：黒井秋夫さん（PTSDの日本兵家族会、寄り添う市民の会代表）

戦争の思い出：佐藤勉さん、山口ヒズ子さん

意見交換

参加費：300円

主催：亘理憲法九条の会

代表：林 茂雄

連絡先：大槻和弘 0223-34-1898

2025 年度前期基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」全5回

「吉野作造の東アジアをみる眼」

～吉野作造は中国及び朝鮮をどのように語ったのか～

政治に関する論文、エッセイや日記等の文章を読み進め、何を伝えようとしたかを「現代」から見つめたり、普段着の作造の姿をみてみましょう。中国論として「支那革命小史」（1917年8月）、朝鮮論として「朝鮮統治策」（1918年10月）、「第三革命後の支那」（1921年2月）を読み進めていきます。

開催日：第3回6/14（土）、第4回7/12（土）、第5回9/13（土）

開催時間：14:00～16:00

会場：吉野作造記念館

講師：氏家 仁さん（吉野作造記念館館長）

参加費：無料（常設展、企画展別途有料）

入館料：一般 500 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

主催：吉野作造記念館

宮城県大崎市古川副沼一丁目2番3号 電話 0229-23-7100 Fax0229-23-4979

申込：事前申込が必要です。「氏名、住所、電話番号、参加希望日」を明示の上、電話または吉野作造記念館ホームページからお申込みください。E-mail

yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

第64回宮城県母親大会 in 青葉講演

「いのちみつめて ～おしばいとおはなし～」

だれもが自分らしく、あなたらしく生きられる平和な社会を。演劇鑑賞運動の中で育ち、今、創る側として熱望すること。「ふるえるような怒りの奥底に、すぐるような生命の願いがあった。」

日時：6月15日(日)9:30～16:00

会場：フォレスト仙台

講師：有馬 理恵さん(劇団俳優座代表取締役社長)

参加協力券：1000円 (高校生以下無料)

主催：第64回宮城県母親大会実行委員会・青葉区母親大会実行委員会

連絡先：FAX022-219-2693。909-9531-6933(早坂)

国見九条の会つどい講演のビデオ上映会

鈴木淳さんの講演「ひとりぼっちの難民小学生」

5月14日に開催された鈴木淳さんの講演が好評で再演してほしいとの声に応じてビデオ上映会を案内します。「日本の傀儡国家満州国、当時小学校6年生の少年が朝鮮国境の鴨緑江に遊びに行ったときに日本が敗戦。満州国は一夜にして崩壊、各地に暴動が発生。家族の住む新京(今の長春)まで500キロを一人で放浪。一年後に家族と再会。」の体験と戦争は絶対してはいけないのお話です。

日時：6月21日(土)14:00～16:00

会場：国見コミュニティーセンター(青葉区国見4-4-4JR仙山線東北福祉大駅より徒歩2分)

共催：国見区域の会九条の会

連絡先：090-6227-3167(白砂)

消費者行政の充実強化を進める懇談会みやぎ

「消費者が知っておきたい米問題」～米の価格はどうなるの！？～

昨年から米の不足が起こり、価格が上昇しています。なぜこのようなことが起こっているのでしょうか。米の生産が持続可能な農業政策になっているのでしょうか。米の価格は消費者から見れば大変な上昇になっていますが、生産現場から見るとどうなのか？

今、消費者が知っておくべき、米の生産・流通、国の農業政策上の課題を知り、価格について考えます。

日時：7月4日（金）10:30～12:00

会場：フォレスト仙台2階第2フォレストホール

*Zoom参加もできます。

講師：鈴木宣弘さん(東京大学大学院特任教授・名誉教授)

定員：会場定員 100名 オンライン定員 100名

参加：要申込 下記の事項記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

①件名「7/4学習会申込」

②氏名、メールアドレス、会場参加またはオンライン参加の別

③E-mail：kenren@miyagi.coop

申込締め切り：6月30日(月)必着

主催：消費者行政の充実強化を進める懇談会みやぎ

TEL:022-276-5162 FAX:022-276-5160

【県内九条の会等の活動報告・情報】

片平9条の会 春のつどい58人参加

片平市民センターで「片平9条の会・春のつどい」（5・18）に参加して

5月18日(日)片平市民センターで片平9条の会の春のつどいが開催され、2024年ノーベル平和賞受賞の日本原水爆被害者団体協議会(被団協)代表理事・宮城県原爆被害者の会代表の木村緋紗子さんから『原爆被害体験とノーベル平和賞受賞式に参加して』と、吉野作造通信を発行する会代表の永澤汪恭(ひろやす)さんから『日本国憲法と宮城ゆかりの人々―吉野作造、鈴木安蔵、鈴木義男―』でお話をいただきました。中学1年生の方も含み58名の参加がありました。



木村さんが広島で被爆したのは8歳でした。肉親を奪われ幸せな生活が壊されました。一瞬にして、たくさんの人々がなぜ自分の命が奪われたかも分からずに死んでいきました。木村さんはその多くの方々への思いを考えたいと話されましたが私たちも想像することが大切だと思いました。

永澤さんのお話では、吉野作造の民本主義論は主権論の欠如という限界にもかかわらず、明治憲法下の日本に適用されるべきデモクラシーのイメージを初めて国民に与えることに成功したとのことです。吉野の軍部批判論は英米に紹介されポツダム宣言の軍国主義排除の規定に導入されました。鈴木義男は吉野の高弟で、社会党の衆議院議員として日本国憲法誕生の国会審議に直接関与しました。鈴木義男は東北帝大教授時代に軍事教練を批判し辞職を余儀なくされ弁護士に転職。治安維持法事件の弁護に尽くした。その功績は日本国憲法第25条第1項を明文化させたこと、憲法9条の第1項の「国際平和を誠実に希求し」に鈴木義男の発言が大きな影響を与えました。鈴木安蔵は吉野の晩年に出会う「最後の弟子」で、吉野の示唆と多数の研究者との交流の中で、「日本国憲法草案要綱」づくりに貢献しました。1878年生まれ吉野作造、1894年生まれ鈴木義男、1904年生まれ1983年没の鈴木安蔵へと約100年に紡がれた日本国憲法づくりに宮城県ゆかりの研究者がいたことを学びました。日本国憲法の3本柱＜国民主権、基本的人権、戦争放棄＞をどう国民に広め未来に引き継ぐか、私たちは考え行動しなければならない。(片平九条の会 小畑光子)

お知らせ

「外交で平和を作るとはなにか～一人ひとりができること～」

5月24日（土）盛岡で行われた9条の会東北交流会の参加は、会場120人、配信は30（人）か所でした。猿田佐世さんの記念講演の見逃し配信が岩手県生協連のYouTubeにアップされています。下記のURLにつないで視聴してください。

<https://youtu.be/XjkNqmkgNlg>

主催：9条の会東北交流会実行委員会